

KANAGAWA ARTS PRESS

March, 2010

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川芸術PRESS93号(通巻97号) 2010年3月15日発行(奇数月15日発行)
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団 ● 禁無断転載・複写 ●

Creator's Voice 112

オペラ歌手(ソプラノ)

幸田浩子



芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設 催し物情報 04&05

特集 神奈川国際芸術フェスティバル 07

写真・幸田 森

「カルミナ・ブラーナ」は大好きな曲。
全曲のソリストとしては今回が初めてで、
わくわくしています。

オペラ歌手(ソプラノ)

幸田浩子

今や名実ともに日本を代表するソプラノの一人となった幸田浩子さん。
県民ホール開館35周年を記念するオルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」演奏会に
ソリストとして登場します。20世紀を代表する名曲に、幸田さんは
どのような思いを込められるのでしょうか。



オルフの「カルミナ・ブラーナ」との出会いから お話しいただけますか？

大学生のとき、NHK交響楽団の定期公演で合唱のパートを歌ったのが最初です。衝撃的な音楽と、10代の学生には官能的すぎるほど情熱的な歌詞が、印象的でした。

「カルミナ・ブラーナ」のどんなところに 魅力を感じますか？

全曲をとらえて、生命力や生きる喜びにあふれているところ。1曲目の冒頭から、情熱を感じます。そして、人生や愛が壮大に謳いあげられた最後に、また1曲目に戻るといふ、運命という大きな車輪のつながりが表現されているところも、すばらしいですね。

今回の指揮は、現田茂夫さんですね。

実は私のオペラ・デビューは現田さん指揮「セビリアの理髪師」のロジーナなんです。それ以来何度も共演させていただいています。楽曲としての歌はもちろん、歌手のコンディションについても熟知されているすばらしい指揮者で、とても信頼しています。

幸田さんの新譜「あなたの優しい声が～イタリア & フランス・オペラ・アリア集」も現田さんが指揮されてましたね。イタリア・フェッラーラでのレコーディングはいかがでしたか？

マエストロとオーケストラの方が作り出してくださる世界の中に身を委ね、その役のヒロインとして歌い切ることには専念した、すてきな経験でした。

ところで、歌手になるきっかけは 何だったのですか？

母が小学校の音楽の先生をしていて、大学時代にグリークラブだった父も、よく歌っていましたので、家にはいつも音楽があふれていました。また、音大生の歌のお姉さんが毎週家に来てくださって、姉と3人で一緒に歌っていました。私はその時間がとても楽しくて、子どもながらとても幸福で、自然と歌が好きになりました。ヴァイオリンやピアノなど楽器を通じて音楽にふれることもできましたが、私には、歌が一番身近で、自然なものだったのです。

音楽を専門的にやろうと決意されたのはいつですか？

2歳違いの姉(注:ヴァイオリニストの幸田聡子さん)が東京芸術大学に入っていて、芸大の学園祭を見に行ったときに、歌手もオーケストラも指揮も演出も美術もみんな学生だけで作り上げるオペラ公演をしていて、「なんてすごい！」と。私もそこで勉強したいと思うようになりました。

その後、イタリアに留学され、ウィーンでも活躍されましたね。

いつかイタリアに住みたいな、となぜか子どもの

ときから思っていました(笑)。オペラ研修所を修了後、文化庁から奨学金をいただきゴローニャに住み始めました。レッスンにコンクール、オーディションの日々だったのですが、2年ほどたつて、ウィーン・フォルクスオーバーと契約し、ウィーンに居を移しました。本場の舞台上、貴重な経験を重ねることができました。

2007年のクリスマス・コンサートや08年の「ばらの騎士」など、県民ホールにもたびたび出演されていますね。

学生時代に、県民ホールでオペラを観た思い出が残っています。同じ演目でもNHKホールや東京文化会館より少しだけチケットが安くて、学生にはそれが大切で(笑)。特にメトロポリタン歌劇場の来日公演がとても印象に残っています。



「ばらの騎士」のときは、リハーサルの合間に山下公園に散歩に出かけ、かもめの写真を携帯におさめたりしながらリラックスできました。そんな時間をとって本番に臨めるのも、県民ホールならではの楽しみです。

横浜でお好きなスポットは？

赤レンガ倉庫は、季節のお花がいっぱい飾ってあったり、イルミネーションがロマンチックですね。高いところが好きなので、マリントワーやランドマークタワー！そしてみなとみらいの観覧車には行くたびに乗ります(笑)。

最後に今回の演奏会への期待と聴きどころを話していただけますか？

「カルミナ・ブラーナ」は、生命力が満ちあふれた曲です。また、一般の合唱に加えて子どものコーラスが入り、オーケストラも大編成の大曲です。ご存知ない方も、おそらく1曲目の合唱をお聴きになれば、「これ知ってる！」と思われるのではないでしょ

うか。共演させていただくテノールの高橋淳さんはこの曲のスペシャリスト。堀内康雄さんは、同じオペラ歌手として尊敬する方です。一緒にできるのをとても楽しみにしています。

「カルミナ・ブラーナ」は大好きな曲です。これまでソプラノの独唱曲だけを単独でとりあげて歌ったことはありましたが、全曲のソリストとしては今回が初めてで、わくわくしています。そして聴いてくださる皆様にも、この音楽でエネルギーをチャージしていただければ、と思っています。

(取材・文:山田治生)

プロフィール

幸田浩子(ソプラノ) Hiroko KOUDA

東京芸術大学を首席で卒業。同大大学院、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。数々の国際コンクールに受賞後、欧州の主要歌劇場へ次々とデビュー。ローマ歌劇場、ベッリーニ大劇場、シュトゥットガルト州立劇場等で活躍し、名門ウィーン・フォルクスオーバーと専属契約。国内ではN響をはじめとするオーケストラとの共演、更にNHK-FM「気ままにクラシック」のパーソナリティ等幅広く活躍。《あなたの優しい声が～イタリア&フランス・オペラ・アリア集》をはじめ3枚のCDをリリース。二期会会員
<http://columbia.jp/koudahiroko/>

第17回神奈川芸術フェスティバル 神奈川県民ホール開館35周年記念 カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」

- 日時:6月6日(日)16:00開演
- 会場:神奈川県民ホール大ホール
- 曲目: ショスタコーヴィチ:祝典序曲、ストラヴィンスキー:組曲「プルチネルラ」、オルフ:世俗カンタータ「カルミナ・ブラーナ」
- 指揮: 現田茂夫
- 独唱: ソプラノ/幸田浩子、テノール/高橋淳、バリトン/堀内康雄
- 管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神奈川県民ホール特別合唱団(一般公募・混声約350名)、小田原少年少女合唱隊
- 料金: S席6,000円 A席5,000円 B席3,000円 学生(24歳以下)2,000円
- チケット・お問い合わせ 県民ホールチケットセンター 045-662-8866(10:00~18:00) インターネットチケットセンター(24時間) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> ※未就学児童入場不可。有料託児サービス(要事前予約:チャイルドサービス遊 045-774-2711)あり。
- ※出演者・曲目等は変更する可能性があります。
- 主催: 神奈川県民ホール (指定管理者: (財)神奈川芸術文化財団)

小田原市出身の若手実力派の落語家、柳家三三さん。落語界の重鎮、柳家小三治師匠のもとで研さんを積み重ね、2006年3月に真打に昇進されました。いま最も将来を期待される落語家の一人です。

受賞おめでとうございます。ご感想は？

横浜だけが神奈川じゃないよって、ほっとしました。小田原には生まれてから高校を出るまでいました。古典落語には小田原を題材にした作品があるので、そういう噺をするときは、海や山の風景、地名なんかは頭の中に描き出しやすいですね。

普通の中高生だったんですか？

普通ではなかったですよ(笑)。中学の時から東京へ月1、2回は寄席だの落語会だのに行っていましたから。まわりにそんな子はいませんでしたね。噺家になろうと思って、中2の時に師匠・小三治に弟子にしてほしいと頼みに行ったのですが、断られて仕方なく高校へ行ったようなものです。高校を出たところで弟子になりましたが、師匠にしたらしょうがねえなあという感じだったのでしょうかね。

なぜ小三治師匠のお弟子さんになられたのですか？

ひと言でいえばフィーリングですね(笑)。なんだろう、うちの師匠の高座での時間の流れ方などが、とても自分にしっくりくるものだったんですね。無理に笑わせようとせず、自然にしゃべっている中におもしろさが滲み出る。そういう噺家になりたいなあ。

昔はスパルタな師匠だったようですが、僕らの時はほっとらかしですね。何か一つ教えて、曲ってきたらまたぼつりと言おうような。要は自分で考えろということだったんだと思います。師匠の背中を見ながら、どう考えてどう動くかということを実得して学びました。

落語の師匠とお弟子さんとはどんな関係ですか？

いわゆる徒弟制度ですが、弟子にはどっ



ぷりと落語の世界に身を置く時間を多く持たしてやろうということです。噺家らしい匂いとか雰囲気というのは、寄席や楽屋で毎日過ごしたり働中でなんとなく身につくものですから。

僕も楽屋で出会った先輩方いろいろなことを教えてもらいましたが、その恩をその人に返すのではなく、自分が次の世代を指導するときに同じようにしてあげるとというのが、先輩方に対する恩返しの方法なんじゃないかなと思います。

**昨今は落語ブームと
言われています。**

興味を持ってくれる人が増えてい

るのは確かですよね。もともと落語は東京と大阪のローカルな話芸だったわけです。それが世間にこれだけ娯楽がある中、落語という楽しみがありますと普通に言えるだけの規模になってきた。

実は落語はお客さんにも想像力を必要とする芸です。自分で想像しながら考えて、おもしろさに気がつく。いわば知的好奇心を刺激するという意味で、他のお笑いとはちょっと種類が違うのかなと思います。

落語がこの世界からなくなったら困りますか？

困らないんです(笑)。でもこれから初めて落語を聞く人に知ってほしいのは、自分で想像して、おもしろさに自分で気づく、そして楽しいと思える、そんな作業は落語の他にはないということです。それはとても気持ちのいい空間です。もちろんただ楽しむだけでもいいですよ。

今後、どういう落語家を目指しますか？

与える情報はシンプルで、お客さんに想像してもらって余地が多い落語家を目指したいなと思います。それにはまず自分自身もつと魅力的な人間にならなければですね。



プロフィール

柳家三三(落語家) Sanza YANAGIYA
1974年、小田原市に生まれる。県立小田原高校卒業。93年に柳家小三治に入門、同年初高座。96年二ツ目、2006年に真打昇進。07年文化庁芸術祭大衆芸能部門新人賞。将来の落語界を背負って立つ逸材として、多くの期待を集めている。その芸風は端正で、奇を衒わず、30代の若手とは思えない落ち着きとテクニックの巧みさには定評がある。07年、映画「しゃべれどもしゃべれども」で主演の国分太一氏(落語家役)に落語を指導、同年の映画「やしきた道中てれすこ」には自ら俳優として出演するなど、近年の活躍は目覚ましい。

column：神奈川文化賞未来賞とは

神奈川文化賞未来賞は、神奈川にゆかりのある方で今後の活躍が大いに期待される若い世代を対象に奨励的な賞として贈呈しているものです。毎年、神奈川県と神奈川新聞社の共同主催で実施している「神奈川文化賞・スポーツ賞」が第50回を迎えた平成13年度に創設されました。

《過去の受賞者》(年度は平成)(敬称略)

- 13年度** 上野 水香(バレエダンサー)
小田原少年少女合唱隊(合唱団体)
- 14年度** 山本 裕之(作曲家)
ヒダノ修一(太鼓奏者)
- 15年度** 酒井 はな(バレエダンサー)
鈴木 慶江(声楽家)
- 16年度** 岸 啓介(メディアアート作家)
高田 匡隆(ピアニスト)
- 17年度** 角田 光代(小説家)
辻 直之(映像作家)
- 18年度** 蜂飼 耳(詩人)
中村 高寛(映画監督)
- 19年度** 遠藤 真理(チェロ奏者)
岡田 利規(演劇作家・小説家)
- 20年度** 石田 泰尚(ヴァイオリニスト)
石上 純也(建築家)
- 21年度** 武智 由香(作曲家)
柳家 三三(落語家)

県内文化情報
のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報（各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい）

※電話番号をお確かめの上、お間違のないようお願いいたします。
※**休**は休館日等を記載しています。
※「団体料金設定の詳細」、「未就学児の入場の可否」、「学生証等の提示」については、各施設へお問合せ下さい。

横浜市

■横浜美術館

3月20日(土)～6月13日(日)10:00～18:00
※金曜、4/29から5/5は20:00まで。
入館は閉館の30分前まで。

休 木曜(4/29(木・祝)は開館)

ポンペイ展 世界遺産 古代ローマ文明の奇跡

1,400円 高・大学生1,100円 中学生800円
小学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

※毎週土曜日は、高校生以下無料

ハローダイヤル03-5777-8600

■横浜みなとみらいホール大ホール 045-682-2000

5月29日(土)18:00

池辺晋一郎プロデュース公演 オペラの音符たち
「カヴァレリア・ルスティカーナ」とモーツァルト・オペラの至宝

全席指定4,500円 Y席(学生、65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方)3,000円(70席限定)

■横浜能楽堂 045-263-3055

4月24日(土)14:00

講座「この人 百話一芸」

第8回テーマ「春團治50年」

桂春團治(落語家) 聞き手:葛西聖司

全席指定3,000円 セット券(第8回・第9回)4,000円

■栄区民文化センターリリスホール 045-896-2000

5月29日(土)①11:00②14:00

ファミリー向けクラシックコンサート

「音楽のおくりもの」

全席指定

①1,200円 ②大人1,500円 小学生以下1,000円

■青葉区民文化センター 045-982-9999

フィリアホール

5月8日(土)18:00

波多野睦美&つのだたかし リュートソング・デュオ

S4,000円 A3,000円

学生券1,000円(当日残席がある場合のみ)

■神奈川区民文化センター 045-440-1219

かなつくホール

5月9日(日)昼の部13:30 夜の部18:00

ジャパネスク・コレクションシリーズ V

「春風亭昇太 at かなつくホール」

全席指定3,500円 23歳以下3,000円

■港南区民文化センター 045-841-0800

「ひまわりの郷」ホール

4月10日(土) 14:00

サロンオーケストラで聴く

～タンゴ・ワルツ官能のヨーロッパ音楽～

全席指定1,000円

■泉区民文化センター 045-805-4089

テアトルフォンテ ホール

5月23日(日)15:00

劇団かかし座「長靴をはいたねこ」

全席指定

一般1,800円 こども(小学生以下)1,000円

フォンテチケット1,500円

■県立歴史博物館 045-201-0926

4月3日(土)～5月9日(日)9:30～17:00

(金曜日は特別展のみ20:00まで。入館は閉館の30分前まで)

休 月曜(祝日の場合開館)

特別展「彩色立面図に見る日本の近代建築

—銀行・オフィスビルから邸宅まで—後期 銀行建築編」

20歳以上800円 20歳未満・学生500円

高校生・65歳以上100円

※中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

※団体料金設定あり

①4月25日(日)14:00～16:00

特別展記念講演会

「明治・大正の銀行建築と保存活用」

講師:清水建設技術研究所 上席研究員 松波秀子氏

無料 要特別展観覧券

定員:70名

②特別展記念建物見学会

第1回 4月30日(金)14:00～15:30

日本銀行本店本館(中央区日本橋本石町)

第2回 5月4日(火・祝)14:00～15:30

旧横浜正金銀行本店本館(当館)

無料 第2回は要特別展観覧券

定員:2回とも必ず出席できる方25名

①②ともに要事前申込 応募多数の場合抽選

※申込はHPからのフォームメールか、往復はがきにて①4/15(木)②4/20(火)必着

川崎市

■ミュゼ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

4月21日(水)ランチ12:10 ナイト19:00 **託児**

MUZA ランチタイム&ナイトコンサート

「女性3人ア・カペラ・アンサンブル “カペラッテ”」

全席自由 ランチ500円 ナイト1,000円

5月5日(水・祝)11:00 **託児**

こどもの日パイプオルガン・コンサート

「オルガン王国☆大行進!」

全席指定2,000円 こども1,000円(4歳～中学3年生まで)

■川崎市岡本太郎美術館 044-900-9898

4月17日(土)～7月4日(日)

9:30～17:00(入館は16:30まで)

「前衛下着道一鴨居羊子とその時代」展

一般800円 65歳以上、高・大学生600円

中学生以下無料 ※団体料金設定あり

■昭和音楽大学 テアトロジリオ ショウワ

①4月24日(土)／25日(日)各日15:00

魅惑の美女はデスゴッデス!

～落語「死神」を艶笑オペラに～

S9,800円 A6,800円 B3,800円

②4月29日(木・祝)15:00

小川典子コンサート

S3,500円 A2,500円 B1,500円

■新百合21ホール

③5月1日(土)／2日(日)各日13:30

アルテリッカ演芸座「落語(近未来の)名人会」

全席自由2,000円

■川崎市麻生市民館ホール

④5月2日(日)14:00

劇団民藝「神戸北ホテル」

全席指定5,000円

⑤5月3日(月・祝)14:00

大蔵流狂言 山本家「狂言を楽しむ」

全席指定3,500円

①～⑤ともに

アルテリッカしんゆりチケットセンター 044-952-5082

横須賀・三浦地区

■横須賀芸術劇場 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>

よこすか芸術劇場

column : 神奈川県立金沢文庫80年

金沢文庫は鎌倉時代のなかごろ、金沢北条氏(北条氏一族)の北条実時が蔵書を収めた文庫を起源としています。現在の県立金沢文庫は中世歴史博物館として、年6回の展覧会を開催し、鎌倉時代の諸相を今日に伝える貴重な文化財を公開しています。

特別展 「金沢文庫の絵画」

平成22年(2010)は、神奈川県立金沢文庫が開館して80周年にあたります。これを記念して、神奈川県立金沢文庫で保管している、国宝の金沢北条氏歴代の肖像画(3月24日より一斉展示)をはじめとして、重要文化財や県指定文化財などの指定品を中心とした、絵画の名品を一堂に展示いたします。

●会 期:開催中～4月18日(日)

●観覧料:20歳以上(除学生)400円、20歳未満・学生250円、65歳以上・高校生100円
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

企画展 「武家の都 鎌倉の茶」

●会 期:4月22日(木)～6月27日(日) ●観覧料:通常観覧料

〈講座・講演会〉

①春季特別講演会 「茶碗からみた喫茶文化の伝来」

●日 時:5月8日(土)13:30～15:30

●講 師:水上和則氏(専修大学講師)

②月例講座 「聖天式法の成立と展開」

●日 時:5月23日(日)13:30～15:00

●講 師:西岡芳文(金沢文庫学芸課長)

※申込は往復ハガキ(一人一枚)にて、講座名・〒・住所・氏名・電話番号を明記してお送りください。

①4/27(火)②5/12(水)必着。要当日観覧券。

③国際博物館の日記念講演会

●日 時:5月16日(日)10:30～11:30

●講 師:山地純(金沢文庫主任学芸員)

※当日受付 無料



■開館時間:9:00～16:30(入館は16:00まで)

■休館日:毎週月曜日(祝祭日を除く)

■祝日の翌日、年末年始、展示替等による臨時休館

■観覧料:20歳以上(除学生)250円

20歳未満・学生150円、65歳以上・高校生100円

中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

※特別展は別途料金

■交 通:京急線・金沢文庫駅より徒歩12分

シーサイドライン・海の公園柴口駅より徒歩10分

■所在地:〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142

■電 話:045-701-9069

■F A X:045-788-1060

県内文化情報のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報 (各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

5月15日(土)17:00 **☎託児**
 横須賀芸術劇場リサイタル・シリーズ24
 クリスマス・ツィメルマン ピアノ・リサイタル
 S12,000円 A10,000円 B8,000円 C6,000円
 ※学生(24歳まで)半額

5月19日(水)18:30
 劇団四季ソング&ダンス 55ステップス
 S8,000円 A6,000円 B5,000円 C3,000円
 ※3歳以上はチケットが必要です(3歳未満ひざませ無料)

ヨコスカ・ベイサイド・ポケット **☎託児**
 4月18日(日)14:00
 初代高橋竹山生誕100年記念
 高橋竹童 ~津軽への想い~
 S3000円 A2500円 ※学生(24歳まで)半額

■横須賀美術館 046-845-1211
 開催中~4月11日(日)10:00~18:00 **休** 4/5(月)
 「ワンダーシニア30展」
 ベテラン洋画家32人の昭和時代の作品と近作を紹介
 一般800円 65歳以上、高・大学生600円

4月24日(土)~6月13日(日)10:00~18:00 **休** 5/10(月)
 「菅野圭介展」
 西洋的な口マンを感じさせると讃えられた洋画家・
 菅野圭介の個性的な画業をふりかえります
 一般800円 65歳以上、高・大学生600円

■鎌倉芸術館 0467-48-4500
 大ホール
 5月22日(土)15:00
 日本の歌名曲コンサート Vol.2
 時代をたどる日本の心~明治・大正・昭和・平成~
 全席指定2,000円 こども1,000円(中学生以下)

小ホール
 5月30日(日) ①13:00②15:30
 鎌倉芸術館シネマシアター
 小津安二郎の世界Vol.2 ①「麦秋」②「秋日和」
 全席自由 1作品券1,000円 2作品セット券1,500円
 (当日は各300円増)
 ※6/19文学座公演との特別セット券6,000円

■県立近代美術館
 ※9:30~17:00(入館は16:30まで) **休** 月曜(5/3は
 開館)、4/30、5/6 ※中学生以下と障害者手帳をお持ち
 の方は無料 ※団体料金設定あり

葉山 046-875-2800
 4月10日(土)~6月27日(日)
 話の話 ロシア・アニメーションの巨匠
 ノルシュテイン & ヤールブソフ
 一般1100円 20歳未満・学生950円 高校生100円
 65歳以上550円

鎌倉 0467-22-5000
 4月10日(土)~5月30日(日)
 春のコレクション展 日本近代洋画の名品選
 特集展示-佐藤哲三 生誕100年
 一般700円 20歳未満・学生550円 高校生100円
 65歳以上350円

鎌倉別館 0467-22-7718
 4月10日(土)~5月23日(日)
 新収蔵品展
 一般250円 20歳未満・学生150円 高校生100円
 65歳以上100円

湘南地区

■平塚市民センターホール
 ①5月9日(日)13:00
 第4回湘南ひらつかジャズフェスティバル 無料

②5月28日(金)18:30
 東京佼成ウインドオーケストラ平塚公演
 S4,000円 A3,000円 学生2,000円

① ②ともに(財)平塚市文化財団 0463-32-2237

■藤沢市民会館大ホール
 ①5月29日(土)15:00
 第八回藤沢オペラコンクール 記念演奏会
 S4,000円 A3,000円 B2,000円 (4/4発売)

■湘南台文化センター 市民シアター
 ②5月22日(土)16:00
 湘南台トワイライトコンサート
 ~プラムスの肖像~ VOL.1 鍵盤
 全席指定2,500円 4回連続券8,000円 (4/3発売)

③5月5日(水・祝)14:00
 ファミリーミュージカル「オズの魔法使い」
 無料

①~③ともに
 (財)藤沢市芸術文化振興財団 0466-28-1135

■茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123
 5月23日(日)14:00
 川島成道の四季
 ~川島成道&東京ニューシティ室内管弦楽団~
 全席指定4,000円

■茅ヶ崎美術館 0467-88-1177
 4月4日(日)~6月13日(日)10:00~18:00(入館は17:30まで)
休 月曜(5/3は開館)、4/27・28・30、5/6・7・11・12
 春季収蔵作品展
 一般200円 大学生100円
 ※高校生以下、市内65歳以上の方・障害者と介護者は
 無料 ※団体料金設定あり

■秦野市文化会館大ホール 0463-81-1211
 5月9日(日)16:00
 開館30周年・全国植樹祭記念 第25回丹沢音楽祭
 「オペラの饗宴~日本フィルと共に~」
 全席指定3,000円

■伊勢原市民文化会館大ホール 0463-92-2300
 4月11日(日)14:00
 開館30周年記念事業バレエフェスティバル
 市内バレエ団体出場
 「くるみ割り人形」「ドンキホーテ」「白鳥の湖」他
 無料

4月29日(木・祝)14:00
 開館30周年記念事業オーケストラフェスティバル
 伊勢原フィルハーモニーオーケストラ
 「ベートーベン交響曲第2番」他
 無料

(祝)開館30周年記念第1回伊勢原歌謡フェスティバル
 ①4月30日(金)10:00
 一般市民参加型カラオケ発表会
 歌手 島田みきおショー/大抽選会
 カラオケ発表会参加費1曲7,000円(2日間の入場料込み)
 出場者の申込先: コスモスター-046-222-1919
 ②5月1日(土)11:00
 歌謡ものまねバラエティ
 ものまねそっくりさん&歌謡ショー
 ものまねタレント 亘 哲兵/大抽選会
 ①②通し券 2,000円

県央地区

■厚木市文化会館 046-224-9999
 大ホール
 4月10日(土)18:00
 長嶺アサ子のフラムenco
 S5,000円 A4,000円

5月9日(日)13:00
 厚木ジャズ祭2010 ~県央地区ビッグバンド集結~
 全席自由500円

小ホール
 5月14日(金)19:00/15日(土)14:00
 厚木シアタープロジェクト第22回公演
 扉座人情痴 神崎与五郎下り
 全席指定4,200円(当日4,500円) 学生3,000円

■海老名市文化会館大ホール 046-232-3231
 4月12日(月)19:00
 丹藤亜希子ソプラノリサイタル
 テノールペーラ・マヴラクを迎えて
 全席指定4,000円(当日4,500円)

4月25日(日)13:00
 えびかんダンスフェスティバル
 全席自由1,500円

■ハーモニーホール座間 046-255-1100
 4月4日(日)14:00
 横内愛弓のピアノ・ザ・ワールド
 全席自由 大人1,800円 こども980円(3歳~小学生)

4月17日(土)14:30
 高橋竹童 津軽三味線演奏会 全席指定3,500円

5月1日(土)15:00
 ウィーン少年合唱団2010年座間公演
 S5,500円 A5,000円 B4,000円
 ※こども(小学生~高校生)は各1,000円引き

■綾瀬市文化会館大ホール 0467-77-1131
 4月4日(日)12:00/15:00
 爆笑!お笑いバトル2010 in 綾瀬
 全席指定2,800円(当日3,100円)

県北地区

■グリーンホール相模大野 大ホール
 チケット Move (ムーヴ)042-742-9999 **☎託児**
 4月11日(日)14:00
 午後のうるおいコンサート《春》
 シエナ☆フルーツ&シエナ・クラッツ
 全席指定1,000円

4月29日(木・祝)15:00 **☎託児**
 開館20周年記念 森麻季&仲道都代デュオ・リサイタル
 全席指定5,000円 学生(25歳以下)2,500円

5月30日(日)15:00 **☎託児**
 開館20周年記念 シエナ・ウインド・オーケストラ
 全席指定5,000円 学生(25歳以下)2,500円

■杜のホールはしもと 多目的室
 チケット Move (ムーヴ)042-742-9999
 5月21日(金)19:30
 MORI-NO HALL JAZZ SELECT SERIES VOL.23
 梅津和時、演歌を吹く。~木管無伴奏ソロ~
 全席自由3,000円(当日3,500円)

■県立藤野芸術の家 042-689-3030
 ゴールデンウィーク特別メニュー
 ①4月29日(木・祝)~5月5日(水・祝)
 9:00~12:00、13:00~15:00随時受付
 「スイーツデコ・ストラップ作り」 800円

②5月3日(月・祝)14:00
 子どものための「はじめてのクラシックコンサート」
 全席自由500円

③5月4日(火・祝)①11:00~12:30 ②13:30~15:00
 「親子のためのドラマ体験教室!」 各回3,000円

■県立相模湖交流センター
 5月21日(金)~23日(日)10:00~20:00
 政令市移行記念 市民文化祭60周年記念事業
 「カルチャー&アートフェスティバル(津久井会場)」
 無料 相模原市文化国際課042-769-8202

西湖・足柄地区

■真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128
 9:30~16:30(入館は16:00まで)
休 第1・3水曜(祝日の場合は翌日)
 常設展
 大人600円 高校生以下350円 ※団体料金設定あり

☎託児 ……託児サービス有り(事前申込)

「亜門に質問！」宮本亜門タウンミーティング ～神奈川芸術劇場のオープンに向けて～

**4月から神奈川芸術劇場の芸術監督に就任する演出家・宮本亜門さんによる
タウンミーティングを1月に開催しました。**
(主催:神奈川県 企画・構成:(財)神奈川芸術文化財団)

県では、平成23年1月のオープンに向けて「神奈川芸術劇場」(以下、芸術劇場)の開設準備を進めています。芸術劇場は、ホール(約1,300席)と公演にも使用できるスタジオを備え、「創造型劇場」を目指して、演劇・ミュージカル・ダンスなどの優れた舞台芸術作品を創造・発信していきます。

平成22年4月から、宮本亜門さんがこの劇場の芸術監督に就任します。オープンに向けて、様々なゲストを招き、「劇場に何を期待するのか」、「劇場に今、何ができるのか」などについて県民の皆さんと語り合うため、1月9日から11日の3日間、小田原・川崎・横浜の県内3会場で「宮本亜門タウンミーティング」を開催しました。

1月9日(土)
小田原市民会館 小ホール



初日の小田原会場では、女優・ライブコーディネーターで箱根在住の浜美枝さん、小田原市観光協会催事・誘客委員の山

口英彦さんのお二人がゲストとして登場。宮本さんが「生の芸術に触れる機会はとても重要。芸術劇場がその役割を果たしていきたい」と話すと、浜さんが「本物に触れることで見る目が養われる」とした上で、「身内のような気持ちで、愛情を持ってつながっていきけるような劇場になってほしい」と芸術劇場への期待を語りました。山口さんも「『どこで見るか』ではなく、『何を見るか』が大切」と語りました。

1月10日(日)
ミュゼ川崎シンフォニーホール
市民交流室



二日目の川崎会場では、地元出身の松沢成文・神奈川県知事が「神奈川らしいソフトを磨いて、上演することで、全国に発信していきたい。また、劇場を取り巻く街の賑わいづくりが必要」と語りました。女優・齊藤由貴さんからは「気軽に足を運べる劇場にしてほしい」という意見が。宮本さんは「バックステージツアーなど、劇場

を身近に感じてもらえるような企画も考えていきたい」と応じました。

1月11日(月・祝)
横浜赤レンガ倉庫1号館
3階ホール



最終日の横浜会場には、横浜で文化施設を運営するお二人のゲストが登場。俳優で、みなとみらい地区の短編映画館「ブリリア ショートショート シアター」の代表も務める別所哲也さんは「地域に愛され、地域から世界へ才能を育て、発信していけると良い」と神奈川から世界への芸術発信について熱い想いを。横浜美術館館長、逢坂恵理子さんは「みなとみらい地区から山下町まで、様々な文化施設が集中している。互いに連携していきたい」と地域全体の活性化について語りました。

各会場で行われた県民の皆さんとの意見交換では「子供向けのプログラムやワークショップなどを工夫してほしい」「もう一歩劇場に踏み込めない人たちを引き込む仕掛けを考えてほしい」など、幅広い年齢層から、期待を込めた数多くの意見が寄せられました。

「劇場の方向性について、たくさんのヒントをいただき、大変参考になった」と宮本さん。劇場のオープンに向けて、ますます期待が高まります。

KANAGAWA ARTS PRESS が5月号から変わります

平成23年1月の神奈川芸術劇場オープン控え、平成22年5月号からKANAGAWA ARTS PRESSは誌面を一新し、県内の文化芸術情報についてより充実した内容を紹介するとともに、県民ホールの本館・神奈川芸術劇場、県立音楽堂及びかながわアートホールの事業や、アーティスト情報等を提供する文化芸術総合誌として生まれ変わります。

これに伴い、従来、「県内文化情報のページ」として神奈川県内・公立施設の催し物情報をご紹介してまいりましたページ

は、平成22年5月号から、県内各地の芸術文化施設の情報や、地域の文化芸術活動の情報をとりあげてご紹介する内容に変更いたします。

なお、神奈川県内・公立施設の催し物情報については、ホームページでご覧いただけるようにしてまいります。

より読みやすく、楽しめる誌面にしてまいりますので、引き続きご愛読をお願いいたします。

第17回

神奈川国際芸術フェスティバルへようこそ!

2010年4月18日(日)~7月22日(木)

神奈川県民ホールと神奈川県立音楽堂で、今年も多彩な芸術ジャンルの祭典を華やかにお届けいたします。世界から集まる一流の音楽や、心わきたつオーケストラ、県民参加の合唱、現代アートなど、各ホールの個性を発揮するラインナップです。神奈川・横浜の街の魅力とともに、心ゆくまでお楽しみください。

ラインナップの詳細は特集ウェブサイトで! <http://www.kanagawa-arts.or.jp/>



神奈川芸術文化財団
芸術総監督 一柳 慧



シュトゥットガルト・
バレエ団 公演より

■東京バレエ団「オネーギン」全3幕 (ジョン・クランコ振付)

ドラマティック・バレエの人気作。東京バレエ団ブリマの斎藤友佳理が万感の想いをこめて踊る注目公演。

- 出演: 斎藤友佳理、木村和夫 他
- 5月23日(日) 15:00 開演 ●大ホール
- S 10,000円 A 7,000円 B 5,000円
C 3,000円 学生(24歳以下)2,000円
Sペア 19,000円

■カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」

壮大な管弦楽と力強い合唱・独唱によって描いた20世紀の合唱付き管弦楽作品の傑作。迫力あふれる演奏にご期待ください。

- 指揮: 現田茂夫
- ソプラノ: 幸田浩子、テノール: 高橋 淳、バリトン: 堀内康雄、
管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団、
合唱: 神奈川県民ホール特別合唱団、小田原少年少女合唱隊
- 6月6日(日) 16:00 開演 ●大ホール
- S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円 学生(24歳以下)2,000円

■スーパー・アンサンブル・トゥデイ!

I テレム・カルテット

ロシア伝統楽器を使いながら、まったく新しい音楽を聴かせる欧州で人気のアンサンブル。情熱的で洗練されたワールド・ミュージック。

II スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ

凄腕の日本のトップチェリスト12人が大集合! 繊細さとダイナミックさを併せもつチェロのスーパーサウンドに期待ください。

- 曲目: ソリリマ: チェロよ歌え! ~2つのチェロと弦楽のためのバラード 川島素晴: 12人のイカれたチェリストたち ほか
- I 7月3日(土)・II 7月17日(土)各日15:00開演 ●小ホール
- I・II各日 全席指定 一般 3,800円 学生(24歳以下) 2,800円



■浅葉克己展 東洋的核なもの 西洋的核なもの

日本を代表するアート・ディレクター浅葉克己による展覧会の第2弾。

- 7月7日(水)~22日(木)10:00~18:00 [無休] ●ギャラリー
- 一般 500円 学生・65歳以上 400円 高校生以下無料
- *最終日は16時まで。入場は閉場の30分前まで。

チケットの
お求めは



インターネットチケットセンター(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>



県民ホールチケットセンター 045-662-8866 (10:00~18:00)



音楽堂チケットセンター 045-263-2255 (13:00~17:00月休)

アクセスはホールニュースの地図を参照ください。取り扱いチケットの最新情報はホームページでご覧いただけます。 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 40周年

神奈川で生まれ育ったプロオーケストラとして、40年間、クラシック音楽の魅力を伝えてきました。

古典派から現代音楽、オペラまで幅広いジャンルに渡る演奏を行っているほか、小・中学校などを訪れ、子ども達の目の前で迫力ある演奏を披露し、共演するなど、音楽への関心を高める、地域に密着した活動も行っています。

新しい常任指揮者として、国内外で評価の高い金聖響氏を迎え、今、最も注目されているオーケストラです。

■神奈川フィルハーモニー管弦楽団**創立40周年記念演奏会**

●日時: 5月29日(土) 15:00

●会場:

神奈川県民ホール

●内容: マラー／交響曲第2番「復活」

●指揮: 金聖響

ソプラノ:

澤畑恵美

メゾ・ソプラノ:

竹本節子

●料金: S 6,000円 A 4,500円 B 3,000円
学生(B)1,000円



金聖響



澤畑恵美



竹本節子

■聖響音楽堂シリーズ《ロマン派の響き》**第2回**

●日時: 4月10日(土) 15:00

●会場: 県立音楽堂

●内容: シューベルト／交響曲第7番「未完成」ほか

●指揮: 金聖響

●料金: S 4,000円 A 3,000円

学生(A)1,000円

■定期演奏会**第262回 定期演奏会**

●日時: 4月23日(金) 19:00

●会場: 横浜みなとみらいホール

●内容: マラー／交響曲第3番

●指揮: 金聖響

メゾ・ソプラノ: 波多野睦美

第263回 定期演奏会

●日時: 5月21日(金) 19:00

●会場: 横浜みなとみらいホール

●内容: 池辺晋一郎／照葉樹林
～弦楽オーケストラのための
ショパン／ピアノ協奏曲第2番 他

●指揮: ロッセン・ゲルゴフ

ピアノ: 仲道郁代



ロッセン・ゲルゴフ



仲道郁代

●定期公演料金: S 6,000円 A 4,500円

B 3,000円 学生(B)1,000円

シニア(70歳以上)は各席種2割引

●お問い合わせ

神奈川フィル・チケットサービス

(平日10:00～18:00)

TEL 045-226-5107

県立神奈川近代文学館

港の見える丘公園にあり、神奈川ゆかりの作家を中心に、日本の近代現代文学関連資料を収集保存し、それらの資料を広く公開しています。

展示室では作家の自筆原稿など様々な資料を展示。閲覧室では図書や雑誌などを閲覧することができます。

**■城山三郎展-昭和の旅人-****第1部 大義の末-城山三郎の原点****第2部 組織と人間-城山三郎の世界****第3部 幸福は花びらのごとく**

経済小説の第一人者として多くの読者に支持された直木賞作家、城山三郎(1927～2007)は、「官僚たちの夏」など現代に取材した作品のほかに、「落日燃ゆ」「男子の本懐」などの作品で、気骨ある日本人の姿を鮮やかに現代に甦らせました。

こうした城山作品の原点には、軍隊での悲惨な体験があります。戦争末期の軍隊の狂気をまのあたりにし、以来「人の幸福や志が組織の大義によってそこなわれてはならない」という強い思いのもと、組織のあり方やリーダーの資質を生涯問い続けました。

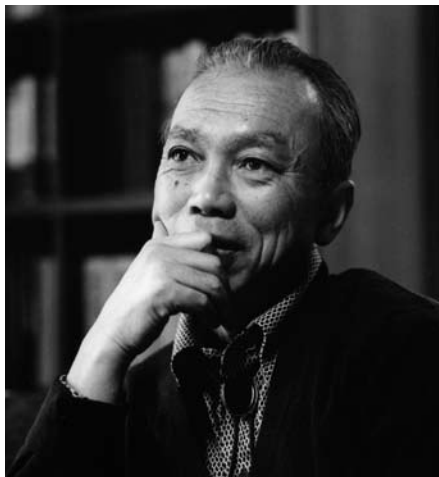
本展は、昭和という時代と人間を巡る旅を続けた作家城山三郎の生涯を「昭和の旅人」と位置付け展覧するものです。

●会期: 4月24日(土)～6月6日(日)

●入場料: 大人600円

20歳未満及び学生300円

高校生以下65歳以上は入場無料



城山三郎

<関連行事>**◆記念講演会**

●日時: 5月1日(土) 14:00

「語りつぐべきこと」講師: 澤地久枝(作家)

●日時: 5月9日(日) 14:00

「さまざまな才能 —城山三郎の世界」

講師: 渡辺淳一(作家)

◆講演会・私の本について話そう

●日時: 5月15日(土) 13:30

「プライド」講師: 真山仁(作家)

◆トークイベント

●日時: 4月29日(木・祝) 14:00

「素顔の城山三郎」

出演: 井上紀子(城山三郎・次女)

*城山三郎の講演会映像を一部上映、本展担当職員による見どころの解説も。

◆ギャラリートーク

毎週金曜日、本展担当職員が城山三郎展の見どころを紹介します。

■県立神奈川近代文学館友の会会員募集中

県立神奈川近代文学館では、随時友の会の入会を受付けています。多くの特典がありますので、この機会に是非ご入会ください。

入会特典◆展覧会を無料観覧◆講演会、朗読会などの各種行事や刊行物を会員価格で提供◆人気の行事の情報をいち早くお届け◆友の会限定の文学散歩・文学講座等を開催

会費 年間会費 2,000円(4月～3月)

家族 1,000円(年間会員家族、複数可)

■月曜休館(祝日は開館)(この他に年末年始、展示室は展示替期間、閲覧室は毎月末の平日と2月1日～10日)

■開館時間: 展示室 9:30～17:00(入館16:30まで) 閲覧室 9:30～18:30(土日祝は17:00まで) 会議室 9:30～21:00

■〒231-0862 横浜市中区山手町110 電話 045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

県内のアート情報はここで探そう!

「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

<http://kanagawa-at.info>



神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840

横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804～3806 <http://www.pref.kanagawa.jp/>